

実践報告

看図アプローチを活用した 定時制高校4年生における英作文の授業実践 —2022年3月の実践との比較—

江草千春¹⁾

EGUSA Chiharu

キーワード：看図アプローチ・定時制高校・英語教育・ビジュアルテキスト

概要

本実践は、江草（2022）で行われた看図アプローチを活用した定時制高校での英語授業の第2弾である。江草（2022）では、「室内光景」というビジュアルテキストを用いて2年生、3年生、4年生を対象に授業を行った。その結果は、他の授業実践（茅野・時田 2021）と同様に、ほとんどの学習者が、楽しく、やりがいがあるという肯定的な感想を述べていた。

そこで、本実践では、「糸通し」というビジュアルテキストを用いて4年生を対象に授業を行い、江草（2022）で得られた記述データと比較し、考察を行った。その結果、看図アプローチの「変換」、「要素関連づけ」、「外挿」の3つの活動で、表現力の伸びが見られ、江草（2022）と同様に、前回以上に面白い、想像力が豊かになる、また挑戦したい、という肯定的な記述が得られた。

1. はじめに

本実践においても、江草（2022）と同様に、看図アプローチ（鹿内 2016）を用いて協同学習を推進している。このアプローチでは、ビジュアルテキストの読解を授業の中に取り入れている特徴があり、Finke, Ward and Smith（1996）の創造的思考に関するジェネプロアモデル理論を基礎として採用している。この理論では、創造的思考を「発明先行構造生成段階」と「発明先行構造探索段階」に分離した2段階モデルで説明している。何かを創造する人は、まず生成段階において「創造的発見を促進するようさまざまな特性をもつ発明先行構造と呼ばれる心的表象を構築して

いる」（Finke, Ward & Smith, 1996 小橋訳 1999, p.19）。発明先行構造を生成したら、学習者はそれを探索したり解釈したりする。これが探索段階である。この2段階を経て創造的作品が産出されていく。また、ジェネプロアモデル理論では、「創造的探索と解釈に貢献する発明先行構造の6つの特性」を考えている。それらは斬新性・あいまい性・暗示的有意味性・創発性・不調和性・拡散性である（Finke, Ward & Smith, 1996, pp.23-24）。

このような理論を、看図アプローチでは採用しているが、鹿内（2015）は、ビジュアルテキストには、先述した6つの特性を含む、ある種の「わかりにくさ」が備わっている必要があると述べて

1) 北海道岩見沢東高等学校

いる。この「わかりにくさ」が、学習者たちが個々に思考したり、ペアやグループで協同の学び合いを深めながら、ビジュアルテキストを様々な解釈したり、表現したりすることを可能にしている（鹿内 2015・2022）。また、このテキストを読み解いていくための処理として、次の3つの活動がある（鹿内 2015）。1つ目が、「変換」であり、ビジュアルテキスト中に描かれている（あるいは写っている）諸要素を言語化する活動である。2つ目が、「要素関連づけ」であり、ビジュアルテキストを構成している諸要素を相互に関連づける活動である。3つ目が、「外挿」であり、ビジュアルテキスト中に表現されている内容を超えて、展開について推量したり結果を予測したりすることにより、発展的に考えていく活動である。

本稿では、江草（2022）とは異なるビジュアルテキストを用いた、定時制高校4年生を対象にした英語授業を報告する。この授業は、「変換」「要素関連づけ」「外挿」の3つの活動を引き出すように設計されている。また、本実践で得られた記述データを、江草（2022）と比較し、どのような変化が生じたかについて考察する。

II. 4年生「英語表現I」における授業実践

本実践は、2022年の7月にA高等学校（高校）の定時制課程で行われた。2, 3, 4年生でこの実践が行われたが、本実践では、4年生の「英語表現I」の授業のみ報告する。この科目は、2単位科目（1週間に2回授業がある）である。2022年3月にもビジュアルテキスト「室内光景」を用いて実践（江草 2022）が行われたので、今回で2回目となる。今回は、「糸通し」というビジュアルテキスト（図1参照）を用いて、4時限配当の授業を行った（資料1・2・3・4参照）。また、本実践で用いられたワークシートは、以下に示す5つである（ワークシート1～5参照）。学習者は、男子5名、女子3名、計8名のクラスである。

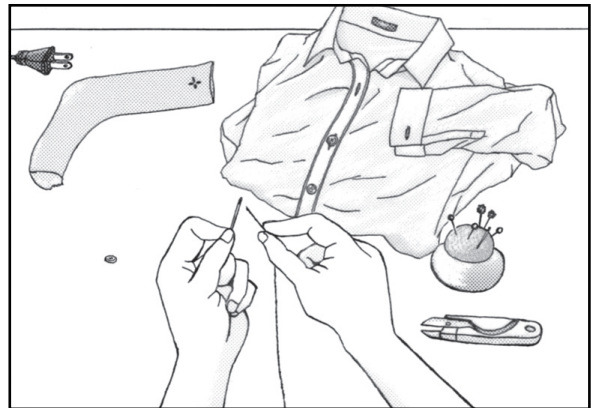


図1 糸通し

©yuki.ishida

ワークシート1

- ____年 名前____
1. ビジュアルテキストに描かれている『もの』を4つ以上書いてください。
(記入欄省略)
 2. 1. で描かれていた『もの』を英語に直してください。
(記入欄省略)

ワークシート2

- ____年 名前____
3. ワイシャツはどこにありますか？答えを5つ以上日本語で書いてください。
(記入欄省略)
 4. 3. で書いたものを英語に直してください。
(記入欄省略)

ワークシート3

- ____年 名前____
5. この人（Miki）はこれからいくつかの作業をします。どんな作業をどんな順番でしていくと思いますか。ビジュアルテキストに描かれていることを根拠にして、日本語で考えて書いてください。
(記入欄省略)
 6. 5. で書いたものを英語に直してください。
(記入欄省略)

ワークシート 4

____年 名前 _____

鑑賞用ワークシート

7. 次の作品を読んで、どの作品が一番良い
 と思いましたか。理由とともに説明して下
 さい。


一番良いと思った作品→ _____

理由
 (記入欄省略)

ワークシート 5

____年 名前 _____

8. 2022年3月に行ったビジュアルテキス
 トの授業と比べてどうでしたか。自由に書
 いて下さい。



©yuki.ishida

(記入欄省略)

9. その他、今回の授業をやってみてどうで
 したか。感想などを自由に書いて下さい。
 (記入欄省略)

資料1 4年生「英語表現I」における1時限目の授業計画

| | |
|--|-----|
| 出欠確認・洋楽の歌詞の音読・聞くか、歌うか | 10分 |
| ビジュアルテキスト「糸通し」とワークシート1を配付 | |
| 1. 描かれている「もの」を4つ以上書く | 7分 |
| ペアやグループで話し合いながら作業を進めて良いと指示 教師は机間巡視しながら○をつけたり、誉めたり、助言したりする 作業の早い学習者は、1. で描かれている「もの」を英語に直す | |
| 4名の学習者が「もの」を板書する | 4分 |
| 答えを確認する 自分が書いていない「もの」があれば、赤ペンで追加する (「もの」の共有) | 2分 |
| 2. 1. で描かれている「もの」を英語に直す | 8分 |
| 教師は机間巡視しながら○をつけたり、誉めたり、助言したりする 4名の学習者が英語を板書する | 5分 |
| 答えを確認する 自分が書いていない「もの」があれば、赤ペンで追加する (英語の共有) | 3分 |
| 英語の発音練習 | 1分 |
| ワークシート2では、先生は、どのような発問をするか考える | 5分 |
| ワークシート1を回収 | |

資料2 4年生「英語表現I」における2時限目の授業計画

| | |
|---|-----|
| 出欠確認・洋楽の歌詞の音読・聞くか、歌うか | 10分 |
| ワークシート1を配付 | |
| 前回の欠席者には、他の学習者が書いた解答を配付して、学習に差が出ないように配慮する | |
| ワークシート2で、教師がどのような発問をするか学習者に考えさせる時間を2分程度取ったが、正解が出なかったため、ワークシート2を配付した | 3分 |
| 3. ワイシャツはどこにありますか？5つ以上日本語で書く | |
| ペアやグループで交流しても良いと指示 | |
| 教師は机間巡視しながら○をつけたり、誉めたり、助言したりする | 12分 |
| 4名の学習者が日本語を板書し、板書したものを発表した | 5分 |
| 答えを確認する 自分が書いていない答えがあれば、赤ペンで追加する (答えの共有) | 3分 |
| 3. で書いたものを英語に直す | 12分 |
| ワークシート2を回収 | |

資料3 4年生「英語表現I」における3時限目の授業計画

| | |
|---|-----|
| 出欠確認・洋楽の歌詞の音読・聞くか、歌うか | 10分 |
| ワークシート2と3を配付 | |
| ワークシート3で、この人は、どんな作業をどんな順番でしていくと思うか | |
| 日本語で考えて書く。この時に、この人は、他の人に変えてもいいと指示する | |
| 教師は机間巡視しながら○をつけたり、誉めたり、助言したりする | |
| 初めは、個人思考し、その後、ペア、もしくは、グループで、協同思考や、交流を行う | 18分 |
| その後、日本語で考えたものを英語に翻訳する | 17分 |
| ワークシート3を回収 | |

資料4 4年生「英語表現I」における4時限目の授業計画

| | |
|---|-----|
| 出欠確認・洋楽の歌詞の音読・聞くか、歌うか | 10分 |
| ワークシート3と作品集を配付。7つの作品集を鑑賞する | 5分 |
| 学習者は、一つ一つの作品をみんなの前で朗読する | 3分 |
| ワークシート4を配付。一番良かったと思う作品とその理由を書く | 5分 |
| 許可を取った上で、それぞれの学習者に、一番良かったと思う作品とその理由を発表する | 2分 |
| ワークシート5を配付し、2022年3月に行ったビジュアルテキストの授業と比べてどうだったか。今回の授業をやってみてどうだったか感想などを自由に書く | 18分 |
| ワークシート4とワークシート5を回収 | 2分 |
| ワークシート3については、まだ何か書き足りないことがあれば、書いてくれば添削すると指示する | |

II-1 「英語表現I」1時限目

1時限目では、看図アプローチの3つの活動のうち、ビジュアルテキスト中に描かれている諸要素を言語化する「変換」を行った。この活動を行うのが、ワークシート1である。ワークシート1の1.の発問で、「変換」の指示をしている。生徒たちは、図1のビジュアルテキストに描かれている「もの」について、以下のように解答していた。

- 1) まち針 2) 靴下 3) Yシャツ 4) 糸切りはさみ
- 5) ピンクッション 6) ボタン 7) 糸 8) 手 9) 爪
- 10) コンセント 11) 机 12) しわ 13) 腕
- 14) 影 15) 壁 16) 襟 17) タグ 18) 地平線
- 19) はさみ 20) シャツ 21) 縫い針
- 22) Tシャツ 23) まち針 24) 指先 25) 線画
- 26) 服 27) 10本指 28) 地面 29) コンセント
- 30) まち針 31) 手相 32) 靴下の柄

また、ワークシート1の2.では、1.で描かれていた「もの」を英語に訳してもらった。生徒たちは以下のように解答していた。なお、「もの」に関する日本語と英語の解答は、番号によって意味が対応するようにしている。ただし、日本語は32)までであるのに対して、英語は29)までしかない。これは、英語で考える時間が足りなかったためである。

- 1) needle, town needle 2) socks 3) shirt
- 4) thread trimmer scissors, thread cutting scissors 5) pincushion 6) button 7) thread
- 8) hand 9) nail 10) outlet 11) desk
- 12) wrinkles 13) arm 14) shadow 15) wall
- 16) collar 17) tag 18) horizon 19) scissors
- 20) shirt 21) sewing needle 22) T-shirt
- 23) marking pin 24) fingertip 25) line drawing
- 26) clothes 27) ten fingers 28) ground
- 29) socket

II-2 「英語表現I」2時限目

2時限目では、看図アプローチの3つの活動のうち、ビジュアルテキストを構成している諸要素を相互に関連づける「要素関連づけ」を行った。

この活動を行うのがワークシート2である。ワークシート2の3.は、「要素関連づけ」を行うための指示である。ここでは、ビジュアルテキスト中の「ワイシャツ」はどこにあるか書いてもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- 1) 靴下の右隣に置いてある
- 2) ピンクッションの左隣に置いてある
- 3) 靴下とピンクッションの間に挟まれている
- 4) ピンクッションの上 5) 糸切りハサミの上
- 6) 靴下の右 7) ボタンの右上
- 8) 自分の正面（自分は一人称とする）
- 9) コンセントの向く方向、直線上
- 10) 手の上にあります
- 11) ピンクッションの上にあります
- 12) 靴下とピンクッションの間にあります
- 13) 糸切りハサミと靴下の間にあります
- 14) ボタンの右斜め上にあります
- 15) コンセントの横
- 16) 針の上 17) 糸の上 18) 台の上
- 19) 台の真ん中 20) くつ下のとなり
- 21) 手もと 22) まち針のとなり
- 23) ピンクッションのとなり
- 24) コンセントの延長線上
- 25) くつ下とピンクッションのとなり
- 26) くつ下とピンクッションの間に置かれている
- 27) 机の上に置いてある
- 28) 手元のすぐ下に置いてある
- 29) 針と糸の上に置いてある
- 30) 壁の近くに置いてある
- 31) ど真ん中に置かれている
- 32) 取れたボタンの右斜め上に置かれている
- 33) ピンクッションの左斜めに置いてある
- 34) 腕の上にちょうどよくある
- 35) 糸切りハサミと靴下の間に置いてある
- 36) まち針の左上 37) 机の真ん中にある
- 38) コンセントの真横にある
- 39) ボタンの右斜めにある
- 40) 壁の近くにある
- 41) くつ下の右にある

- 42) コンセントの右にある
- 43) まちばりの上にある
- 44) ピンクッションの上にある
- 45) 手の前にある 46) ハサミの上にある
- 47) くつ下とピンクッションの間にある
- 48) ボタンの右上にある
- 49) まちばりの左隣に置いてある
- 50) ボタンの右上に置いてある
- 51) 壁の近くに置いてある
- 52) 机の上に置いてある 53) 壁の上
- 54) ど真中 55) コンセントの横
- 56) はりの上 57) 糸の上
- 58) 靴下とピンクッションの間
- 59) 糸切りはさみとくつ下の下
- 60) ボタンの右斜め上
- 61) まち針のとなり 62) 机の上
- 63) 自分から見て真正面に置いてある
- 64) 唯一，地平線にかすっているところ
- 65) 糸切りハサミやコンセントの間に置かれている
- 66) コンセントの近く

また，ワークシート2の4. では，上掲の日本語を英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。なお，「要素関連づけ」に関する日本語と英語の解答は，番号によって意味が対応するようにしている。ただし，日本語は66) までであるのに対して，英語は48) までしかない。これは，英語で考える時間が足りなかったためである。また，できる限り生徒の解答をそのまま再現しているので，文法的に間違いだと見受けられるものもある。

- 1) It's on the right side of the socks.
- 2) It's on the left side of the pincushion.
- 3) It's on the sandwiched of the socks and pincushion.
- 4) The shirt is on the pincushion.
- 5) It is on top of thread trimmer scissors.
- 6) It is right of socks.
- 7) It is top right of the button.

- 8) It is in front of me.
- 9) It is on the outlet straight line.
- 10) It's on the top of your hand.
- 11) It's on the top of the pincushion.
- 12) It's located between the socks and the pincushion.
- 13) It's located between the thread trimmer and the socks.
- 14) It's on the right side of the button
- 15) Next to the outlet.
- 16) It's on the top of the needle.
- 17) It's on the top of the thread.
- 18) Shirt is on the desk.
- 19) Shirt is in the center of desk.
- 20) It is next to socks. 21) Shirt is at hand.
- 22) It is next to pin.
- 23) It is next to pincushion.
- 24) On the extension of the outlet.
- 25) It is next to socks and pincushion.
- 26) between socks and pincushion.
- 27) I put it on my desk.
- 28) It's just above your hand.
- 29) It is placed between the needle and the thread.
- 30) It's placed near the wall.
- 31) In the middle
- 32) It is placed diagonally to the right of the button that was removed.
- 33) It is placed diagonally to the left of the pincushion. 34) It is just on the arm.
- 35) It is placed between the thread trimmer and the socks.
- 36) It is on the gusset needle.
- 37) It is in the middle of the desk.
- 38) It is right next to the outlet.
- 39) It is the button diagonally to the right.
- 40) It is near the wall.
- 41) It's on the right side of the socks.
- 42) It's on the right side of the socket.

- 43) It's on the town needle.
- 44) It's on the pincushion.
- 45) It's in front of hands.
- 46) It's on the scissors.
- 47) It's between socks and pincushion.
- 48) It's in the upper right corner of the button.

II-3 「英語表現I」3時限目

3時限目では、看図アプローチの3つの活動の1つである「外挿」を行ってもらった。「外挿」とは、ビジュアルテキスト中に表現されている内容を超えて、展開について推量したり結果を予測したり、発展的に考えていく活動である。「外挿」は、ワークシート3で行ってもらった。ワークシート3の5. では、「この人 (Miki) はこれからいくつかの作業をします。どんな作業をどんな順番でしていくと思いますか。ビジュアルテキストに描かれていることを根拠にして、日本語で考えて書いて下さい」と指示した。生徒たちは以下のように、解答していた。ただし、「この人」については、他の人に変えてもいい、と補足説明をした。

- 針に糸を通す。ボタンが落ちているので、ワイシャツにボタンを付ける。靴下に穴が空いているように見えるので、穴をぬおうとしている。コンセントがあるので、ワイシャツにアイロンをかけようとしている。ハサミがあるので、糸を切ろうとしている。靴下があるので、靴下に模様を付けようとしている。
- 針に糸を通し、ボタンを探す。見つけた後、独歩 (Doppo) は、ワイシャツにボタンをつけ、アイロンでしわを伸ばし始めました。その後、独歩はワイシャツを着て東京ドームの地下にある闘技場に向かいました。
- 取れたボタンを付けるために針と糸を準備する。針に糸が通れば糸の上を玉留めする。あまった糸は糸切りハサミで切る。しわになった白いワイシャツは近くにあるアイロンで伸ばす。取れたボタンで糸を通す。糸を通した後は、ワイシャツにボタンを付けて行く。縫

い終われば玉結びをする。

- 近くにある靴下に穴が空いてたため、机の上に置く。それからある程度縫い終わればピンクッションを用意してコンセントを取り、針をピンクッションに刺す。～片付け終了～
- ハギーワギーは、まずアイロンでワイシャツのシワをまっすぐにする。次に、糸切りハサミで糸を切って針に糸を通す。ラウンド2 オープンレンジの中に靴下を入れ、温まった靴下を愛犬の人喰い芋虫の服につくります。なんと服をつくっている時にマミーが来たではありませんか！！そこで気付いたハギーワギーは、アミーの分のお服をつくりましたとき。おしまいおしまい。※ちゃんと道具はしまいました。
- 袖の出入り口をふさぐ。あえて、あらかじめ、ボタンをとめている糸を少し切っておき、はずれたところですかさず「俺が直してやるよ」と作戦を決行。まず、ワイシャツと同じ色の糸を選び、袖から15センチほど離れた所を4センチほど縫う。ちゃんとボタンを直しておく。空いた時間で、いつの日か、はくであろう靴下のあえて片っぼだけを縫う。
- 1. 糸を針穴に通す。2. 糸切りはさみで余分な糸を切り。3. ボタンを縫い付ける。4. その後、アイロンでワイシャツのしわを伸ばす。
- 針に糸を通す。針から抜けないように糸を少し結ぶ。ワイシャツにボタンを付ける。針に通した糸を糸きりハサミで切って片付ける。ちゃんとボタンがついたか着て確認する。

また、ワークシート3. の6では、5. で書いたものを英語に翻訳してもらった。生徒たちは次のように解答していた。

- Miki has a thread and a needle, so she's trying to thread the needle. The button is falling, so I'm trying to put a button on

my shirt. It looks like there's a hole in my socks, so I'm trying to sew a hole. I have an outlet, so I'm trying to iron my shirt.

I have scissors, so I'm trying to cut the thread. I have socks, so I'm trying to put a pattern on her socks.

- Thread the needle and look for the button. After that, Doppo pressed a button on my shirt and started ironing it to smooth out the wrinkles. After that, Doppo wore a shirt and headed to the arena in the basement of Tokyo Dome.
- I prepare the needle and thread to attach the button that came off. If the thread passes through the needle, it will be ball-stopped on the thread. Cut the excess thread with thread trimming scissors.
- Block the doorway of the sleeve project. Cut the thread that holds the button in advance, and carry out the strategy saying "I'll fix it" regardless of where it came off. First, select a thread of the same color as the shirt and sew about 4cm away from the sleeves.
- 1. Thread the needle. 2. Cut excess thread with scissors. 3. Sew the button. 4. Smooth out wrinkles on shirts with an iron.
- Miki threads the needle. Ties a little thread so that it doesn't come off the needle. Miki puts a button on her shirt. Cut the thread, passed through the needle with thread trimming scissors and put it away. Wears and check.

II-4 「英語表現I」4時限目

4時限目では、ワークシート3で作成した英語と日本語をまとめた作品集を配付して鑑賞会を行い、振り返りを行った。ワークシート4. の7では、「次の（生徒の）作成した作品を読んで、どの作品が一番良いと思いましたか。理由とともに

説明して下さい。」と指示した。

編集委員会注：査読の過程で『どの作品が一番良いと思いましたか』という教師発言は好ましくない」という意見が出された。この発言は学習者を序列化するものである。このため、このような発言は今後改善するように本論文執筆者に伝えた。あわせて、「協同の精神」「看図アプローチの理念」についての学び直しも促した。以上のような指導を本論文執筆者にしたうえで、「掲載論文として採択する」という判断をした。

生徒たちは次のように解答していた。

- C → 仮定もしっかりと書いていて片付けまでしっかりしている所が良いと思いました。
- C → 丁寧に書かれていたから。
- G → 心のつながりを感じた。
- C → 細かく説明していて何をしているかが、分かりやすく良いと思いました。
- F → シンプルで良いなど。
- B → フィーリングが良い。独歩のその後が気になったから。
- E → すごく分かりやすい説明と「 」の台詞で“俺が直してやるよ”が不意におもしろかった。それからしっかり靴下を縫うストーリーも書かれており、とても面白い話だなと思いました。

また、ある生徒は次のように、1番良いと思った作品が3つあったので、3つの理由を解答した。

- B → 日本語と英文から見るととても面白い。
- C → 絵だけを見て想像を大きくひろげてくれて説明がとてもわかりやすい。
- E → 2段目の「俺が直してやるよ」の言葉がとても印象的。

最後に、ワークシート5. の8では、江草(2022)

で行った看図アプローチによる授業と比べてどうだったかについて自由に記述してもらった。生徒たちは次のように記述していた。

- ・今回のビジュアルテキストは前回と比べると工程が多く、とてもおもしろく、色々な英文を作ることが出来たので、良かったです。
- ・前の時間で使った単語よりも少し難しめの単語が出てきたなと思ったので、文などを考えるのが少し難しかったです。
- ・二度目だったので、想像がしやすく、やりやすかった。他のみんなも工夫されていて、余裕を感じられた。何と言っても楽しくて自分で考えた文を英語にする工程があるので、知らない英語表現が知れて勉強にもなった。
- ・前より色々考えるのが少し難しく感じました。前は今回より少し情報が少なかったことから色々なことが想像できました。しかし、今回は物がいっぱい、それで多く書けましたが、それで色々な想像が出来なくなっていて、難しかったです。
- ・前回のものより情報が難しかった。
- ・前回のビジュアルテキストも、今回のビジュアルテキストも、どちらも頭を使うような面白くよく考えさせられる内容だったので、どちらも良かったです。次のビジュアルテキストがあることを期待しています。
- ・すごく見やすくて分かりやすい。男・・？の人の目線がちゃんとおくっていて遠近法がちゃんとなっていていい。影などをつけているのが印象的。前回も今回のビジュアルテキストを見ても作ったのがすごいなと思った。時計が見やすい。外の窓から見ているような感じで素敵。

また、ワークシート5.の9では、今回の授業を体験しての感想などを、自由に記述してもらった。生徒たちは次のように記述していた。

- ・「前回と比べると」と書きましたが、どちら

もとても良く、また、やりたいと思いました。

- ・あまり使ったことのないような単語が出てきたり、それを使って文章を考えるのは難しかったですけど、とても勉強になったし、他の人の文章を聞くのは面白かったです。
- ・上にも書いたが、自分で考えた文を英訳させるのはすごくいいと思う。楽しいし、新しい表現も覚えられる。僕もいくつか新しく覚えてうれしい。
- ・楽しかったです。
- ・みんなの個性が光っていて、前回以上に面白かったです。
- ・長文の英語が書けるから難しいけど・・・楽しさがある。
- ・正直、楽しかったと思います。理由としては、沢山の人の考えやその人なりの発想、考え、を聞いていてとても楽しかったからです。それに加え、自分の考えを発表できるので、今回の授業は楽しむことができました。たまには、こういった事を家族や友人に教えるのも良いかなと思いました。
- ・最初はどんなのかなと思っていましたが、いざやって見るととても面白かったです。次回も時間がある時、またやりたいなと思った。想像を豊かにしてくれるのと、イラストを見てどう思うのか、人それぞれ違ったのを比べて見るのも良いなと思いました。

III. 考察

ここでは、前節の授業実践のワークシートに記述されていた本実践におけるデータと江草(2022)のデータを比較して、どのような変化があったのかについて考察する。

まず、看図アプローチの3つの活動のうち、ビジュアルテキスト中に描かれている諸要素を言語化する「変換」における「もの」の日本語と英語の解答数による本実践と江草(2022)の比較である(表1参照)。

表1によると、日本語と英語の「もの」の解答数の両方とも江草(2022)と比較して本実践の方

表1 本実践と江草（2022）の比較：「変換」における「もの」の日本語と英語の解答数

| | 日本語の「もの」の解答数 | | | 英語の「もの」の解答数 | | |
|----------|--------------|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| | <i>N</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> | <i>N</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> |
| 本実践 | 7 | 18.0 | 2.8 | 7 | 16.6 | 3.2 |
| 江草（2022） | 5 | 13.2 | 2.7 | 5 | 10.4 | 2.7 |

注 *N*は、授業当日に出席した学習者の数を指す。江草(2022)と数字が異なるのは、授業当日に欠席したためである。*M*は平均、*SD*は標準偏差を指す。

表2 本実践と江草（2022）の比較：「要素関連づけ」における日本語と英語の解答数

| | 日本語の解答数 | | | 英語の解答数 | | |
|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|
| | <i>N</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> | <i>N</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> |
| 本実践 | 7 | 9.6 | 2.6 | 7 | 6.9 | 1.9 |
| 江草（2022） | 5 | 5.0 | 0.0 | 5 | 4.0 | 1.2 |

表3 本実践と江草（2022）の比較：「外挿」における英作文の使用語数と重なりを除いた語数

| | 英作文の使用語数 | | | 重なりを除いた語数 | | |
|----------|----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| | <i>N</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> | <i>N</i> | <i>M</i> | <i>SD</i> |
| 本実践 | 7 | 45.0 | 18.5 | 7 | 29.8 | 6.7 |
| 江草（2022） | 7 | 20.6 | 10.2 | 7 | 14.4 | 5.9 |

注 例えば、Miki has a thread and a needle.という英作文では、使用語数が7語である。また、aが2回使われているので、重なりを除いた語数は6語と算出している。

が増加している。

次に、看図アプローチの3つの活動のうち、ビジュアルテキストを構成している諸要素を相互に関連づける「要素関連づけ」における日本語と英語の解答数による本実践と江草（2022）の比較である（表2参照）。

「要素関連づけ」については、本実践では「ワイシャツ」はどこにあるか、江草（2022）では「絵」はどこにあるか日本語と英語で書いてもらった。表2によると、日本語と英語の解答数とも江草(2022)と比較して本実践の方が増加している。

最後に、看図アプローチの3つの活動の1つであるビジュアルテキスト中に表現されている内容を超えて、展開について推量したり結果を予測したり、発展的に考えていく活動である「外挿」に

における本実践と江草（2022）の比較である。「外挿」については、両実践のワークシートにおける発問が違うため、英作文の使用語数で比較した(表3参照)。

表3によると、英作文の使用語数と重なりを除いた語数の両方とも江草（2022）と比較して本実践の方が増加している。

このように、「変換」、「要素関連づけ」、「外挿」の活動におけるワークシートから得られた記述データを数量的に示してみたが、どの活動においても本実践が江草（2022）よりも多いことが分かり、表現力が伸びていることが分かった。また、前節のワークシート5. の8の江草（2022）の授業と比較すると、「本実践の方が難しい」という感想が多かった。しかしながら、「とても面白

く、色々な英文を作ることができて良かった」「二度目なので、余裕を持って取り組むことができ、知らない英語表現が知れて勉強になった」「次のビジュアルテキストがあることを期待している」といった肯定的な感想も多かった。さらに、前節のワークシート5. の9の本実践の授業を体験しての感想では、「また、やりたい」「難しい単語が出てきて、それを使って文章を考えるのは難しかった。しかし、とても勉強になったし、他の人の文章を聞くのは面白かった」「長文の英語が書けるから難しいけど、楽しさがある」「またやりたいと思った。想像を豊かにしてくれるのと、イラストを見てどう思うのか、人それぞれ違ったのを比べて見るのも良いなと思いました」といった肯定的な感想が多かった。このことに関連して鹿内(2014)は次のように述べている。「難しいけど面白い。鹿内らは、このような感想をもってもらうことを目標にしています。学んでいることは難しい。しかし、その難しさを克服させてあげれば、そこから楽しさやうれしさが生まれてくる。(p.60)」さらに、次のようにも述べている。「また、『難しいけど…できていく』のです。『難しい』からチャレンジングなのです。難しいことができるからこそ、『できていく』という達成感をもてるのです。こういう経験を積み重ねることによって、『自己有能感』が育っていきます。(同上, p.114)」

今回の実践も、看図アプローチが大切にしている「難しいけど面白い」を実現できていた。

IV. おわりに

本実践では、江草(2022)とは異なるビジュアルテキストを用いて、看図アプローチの3つの活動である「変換」、「要素関連づけ」、「外挿」について、定時制高校4年生を対象に英語授業で実践した。また、江草(2022)のワークシートから得られた記述データを、本実践のデータと比較し、考察した。その結果、本実践が江草(2022)より3つの活動ともデータの伸びが見られることが分かり、表現力が伸びている可能性が示唆された(表1・2・3参照)。また、ワークシートの

感想の記述からも「自分で考えた文を英訳させるのはすごくいいと思う。楽しいし、新しい表現も覚えられる」「みんなの個性が光っていて前回以上に面白かったです」「正直、楽しかったと思います。理由としては、沢山の人の考えやその人なりの発想、考え、を聞いてとても楽しかったからです」という肯定的な感想が多かった。そして、これらのデータや感想から、他の看図アプローチの実践研究(茅野・時田 2021, 溝上・吾妻・鹿内 2016, 大村・池浦 2020)と同様の結果を得ることができ、看図アプローチの有効性や汎用性の高さを示唆することができた。

もちろん、本実践が江草(2022)と比較して厳密に表現力が伸びたとは言いきれない可能性がある。理由としては、学習者が意欲的に実践に取り組んでいる様子を見て、本実践が江草(2022)では行わなかった、「外挿」の活動で作成した作品の鑑賞や発表、および、その準備活動を当初の授業計画より追加したためである。そのため、本実践では、4時限の授業計画となり、江草(2022)より2時限も多く実践を行ってしまったからである。また、本実践は、江草(2022)から4ヶ月たった後の実践であるため、「英語表現I」による他の学習活動や他の科目による教育活動のため、表現力が伸びた可能性もある、と考えられる。しかしながら、ある学習者が授業中に「1年生の時は、playなどの簡単な単語も書けなくて悔しい思いをした。しかし、4年生になって、少しずつ英文を考えて書いてみるのが楽しくなってきた。大学生になっても英語の勉強をがんばりたい」と言っていたことが印象的で、看図アプローチの授業の有効性を改めて感じる場面もあった。

今後は、「糸通し」のビジュアルテキストを本実践と同時期に他の学年にも実施したので、その実践の分析を進め、同様な結果が得られるか検証する必要がある。また、看図アプローチ協同学習を促進する「ビジュアルテキスト」である「きゅうちゃん」(石田 2022・2023, 鯨島・石田 2023, 鹿内 2023, 山下 2023)を用いて英作文を作る実践を行い、表現力に伸びがみられる

かに関して、英語教育学や第2言語習得研究で用いられる測定方法を利用して検証する必要がある（江草 2005）。

引用・参考文献

- 茅野徑子・時田優奈 (2021). 「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでもできる看図作文指導ー『きゅうちゃん、たぶんこうだったんじゃないか劇場ー』」『全国看図アプローチ研究会研究誌』 6, 3-15.
- 江草千春 (2005). 「へき地校高校生英語学習者における英語タスク活動の縦断的研究ーコミュニケーションタスクの実践と評価」『へき地教育研究』 60, 55-62.
- 江草千春 (2022). 「看図アプローチを活用した定時制高校における英作文の授業実践」『全国看図アプローチ研究会研究誌』 13, 35-51.
- Finke, R. A., Ward, T. B., & Smith, S. M. (1996). *Creative cognition: Theory, research, and applications*. MIT press. (フィンケ R. A. ウォード T. B. スイス S. M., 小橋康章 (訳) (1999). 『創造的認知ー実験で探るクリエイティブな発想のメカニズム』 東京：森北出版.)
- 石田ゆき (2022). 「きゅうちゃんの歴史（Ⅰ）ー誕生編ー」『全国看図アプローチ研究会研究誌』 16, 29-37.
- 石田ゆき (2023). 「きゅうちゃんの歴史（Ⅱ）ーとっても大事な「ちょこっと使い」編ー」『全国看図アプローチ研究会研究誌』 17, 31-44.
- 溝上広樹・吾妻行雄・鹿内信善 (2016). 「高校生物における看図アプローチを利用した授業実践ーユニからその生態と東日本大震災を考へるー」『福岡女学院大学大学院紀要・発達教育学』 1, 21-25.
- 大村勅夫・池浦恵里 (2020). 「看図アプローチ協同学習を用いた古典読解単元の考察その1「きゅうちゃん」を用いて『伊勢物語』第9段を内容把握するー」『全国看図アプローチ研究会研究誌』 4, 14-23.
- 鮫島輝美・石田ゆき (2023). 「演習型授業におけ

る学生の主観的学びの記述についての言説分析ー自己紹介に看図アプローチを活用した事例からー」『協同と教育』 18, 53-73.

- 鹿内信善 (2015). 『改訂増補 協同学習ツールのつくり方いかし方ー看図アプローチで育てる学びの力ー』 京都：ナカニシヤ出版.
- 鹿内信善 (2016). 「看図アプローチによる授業づくり」杉江修治 (編) 『協同学習がつくるアクティブ・ラーニング』 (pp.99-106). 東京：明治図書出版.
- 鹿内信善 (2022). 「看図アプローチで読み解く協同教育・協同学習」『協同と教育』 17, 7-20.
- 鹿内信善 (2023). 「看図アプローチの可能性を拓くー特集号を編集してー」『協同と教育』 18, 31-34.
- 鹿内信善編著 (2014). 『見ることを楽しみ書くことを喜ぶ 協同学習の新しいかたち・看図作文レパトリー』 京都：ナカニシヤ出版.
- 山下雅佳実 (2023). 「『看図アプローチ』を活用した園内研修プログラムの開発」『協同と教育』 18, 35-52.

謝 辞

本実践をまとめるにあたり、鹿内信善先生に、貴重なご助言、及びご示唆を頂きました。また、石田ゆき先生には、ビジュアルテキストの使用の許可を頂きました。深く感謝申し上げます。また、査読者の方々から、問題点を指摘していただくなどご教示を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

注1 本実践は、2022年10月30日に行われた日本協同教育学会第18回大会において一部口頭発表したものに修正・加筆を施したものである。

注2 本実践は、江草(2022)と同じ学習者による授業実践である。江草(2022)では、3年生であったが、2022年度から2023年度に年度が変わり本実践では、4年生に進級している。

注3 本研究の一部は JSPS 科研費 23H05072
の助成を受けたものである。

2023年5月8日 受付

2023年6月16日 査読終了受理